

1 ISO26000とは？

社会的責任（SR=Social Responsibility）に関する国際規格です。国際標準化機構（ISO）が、2010（平成22）年11月に発行しました。今までにも、ISO9000（品質マネジメント規格）、ISO14000（環境マネジメント規格）などがありますが、ISO26000は、その「社会的責任」版ということになります。

企業などの組織が、“一市民”として社会的責任を果たしながら、社会で活動していくための指針とっていいでしょう。

ISO9000や14000は、多くの規格に分かれており、「ISO9000シリーズ」というように表現されています。特に、9001や14001といった「1」番の「要求事項」に関する規格では、第三者機関の審査を受け、合格すると認証を取得することができます。

しかし、ISO26000は、望ましい姿を示し、実行の参考にしてもらう手法をとっています。

内容については、ISO / SR国内委員会のホームページ（<http://iso26000.jsa.or.jp/contents/index.asp>）から入手することができます。

2 ISOとは？

国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略語で、スイスに本部がある非営利団体です。機構が発行する規格は、日本風にいえば、日本工業規格、JISマークにあたるものといえます。発行される標準規格には、対象範囲ごとに番号が振られており、品質マネジメント規格、環境マネジメント規格のほか、食品衛生に関するISO22000や情報管理に関するISO27000なども知られています。

社会的に使われてきたISO規格

ISO 13485	医療機器の品質管理に関する規格
ISO 31000	組織としてのリスクマネジメントの運営に関する規格
ISO/TS 16949	自動車生産などの部品の品質マネジメントシステムに関する規格
ISO 400	カメラ用フィルム感度の値 ISOで規格化される前は、ASA、DINなどが使われていた